

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 木材利用推進・林業支援担当
 内線: 4318 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B44	都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業		一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	令和元年度～令和5年度	根拠法令	森林・林業基本法、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律		宣言項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備	SDGsゴール	11, 12, 15
					分野施策	040938 県産木材の利用拡大と林業の振興	SDGsターゲット	11-a, 12-8, 15-1, 1
1 事業概要			5 事業説明					
川上から川下まで県産木材を利用しやすい環境を整備し、市町村等が取り組む木造公共施設整備を支援することで、県産木材の利用拡大を図り、森林の循環利用を促進する。			(1) 事業内容					
(1) 木造建築情報発信事業			ア 木造建築情報発信事業 15,171千円					
委託料の入札差金、新型コロナウイルスの影響で補助金の要望が当初の見込みを下回ったこと等による減額 △3,395千円			イ 木造建築技術者等育成事業 2,930千円					
2 事業主体及び負担区分 添付資料のとおり			(2) 事業計画					
3 地方財政措置の状況 なし			ア 木造建築情報発信事業					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.5人=33,250千円			(ア) 木造建築技術アドバイザー制度運営					
			① 木造建築技術相談窓口の設置					
			② 木造建築技術アドバイザーの派遣					
			③ 地域の木材情報収集及び木造建築関係者間の調整業務					
			(イ) 県産木材利用の理解促進					
			① 地域の木材情報調査・発信・配布					
			② 木とのふれあいまつりなどのイベントに対する支援					
			(ウ) 新技術、新工法等の紹介・普及					
			① 一般流通材、新しい耐火部材、CLT等の新技術、新工法等の講習会開催					
			(エ) 県産木材の利用環境整備					
			① 市町村、設計者、木材産業関係者等の連携促進					
			② JAS製材品の普及促進					
			③ 木製品展示会に係る負担金					
			④ 「さいたま県産木材認証制度」の運営や研修等に係る経費の助成					
			イ 木造建築技術者等育成事業					
			埼玉県木造公共施設推進協議会が開催する木造建築技術者講習会の運営を支援					
			(3) 事業効果					
			県産木材の供給量 平成27年度: 87,000m ³ → 令和3年度: 116,000m ³					
			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況					
			(5) 補正予算の概要					
			委託料の入札差金、新型コロナウイルスの影響で補助金の要望が当初の見込みを下回ったこと等による減額					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,395	繰入金					0	14,706
現計額	18,101						0	